

沿線風景



田戸から葛川を運ぶ舟橋。郊外に瀧峡ボートの別館がある。

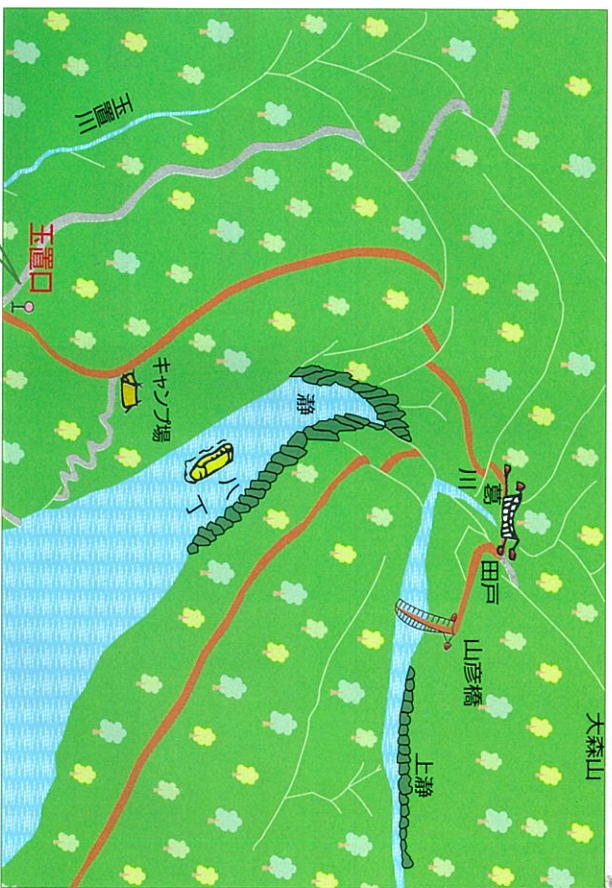
奈良県コースの所要時間	起点までの最寄駅と所要時間
約10分	三重交通/JR紀勢線「新宮」駅から [J]川口/VX停まで1時間9分 日3便 県営車で徒歩 3時間50分
奈良県コースの距離	終点
0.4km	県営から徒歩 1時間20分 熊野交通/VX「玉置口」バス停から 「志古」バス停まで36分 日1便

コースガイド

瀧(丁)は、奈良・三重・和歌山の3県にまたがる北山川の峡谷の一部で、吉野熊野国立公園の目玉のひとつ。瀧峡は、田戸にある山彦橋を境に上流と下流に分かれ、橋の下流1キロほどを道称「瀧(丁)」と呼んでいる。北山川はこのあたりで、うっそうとした森林地帯をぬって大きく蛇行し、両岸には30～40メートルもある断崖絶壁が続く。水際には奇岩怪石が並び、流れは深い淵をつくっている。特別名勝・天然記念物。探訪には通常、熊野川町志古から出るウオーターシャトル船が利用される。

瀧(丁)を左岸から右岸にわたり、三重・奈良・和歌山の3県をまたいで鑑賞するコース。三重県の小川口から北山川の左岸をさかのぼり、瀧(丁)の東岸のスギやヒノキの植林が、部混じる照葉樹林の中を進む。県境をまたぐ山彦橋を渡り、奈良県に入る。大森山の南側斜面にはりついた民家が点在する中を西に進み、田戸の駐車場に着く。この地点は瀧峡利用の中心地点であり、宿泊施設があるほか、上流から筏下りの終点、下流からのジエト船の終点となっている。田戸から再び葛川(奈良・和歌山県境)をまたぐ吊橋を渡り、右岸側の山裾を巻く林の中の小径をたどる。途中、瀧(丁)を眼下に展望できる地点がある。尾根筋に取りついた後は、よく整備された歩道を、玉置口まで南下する。

沿線風景





沿線風景

十津川の二津野ダム湖に沿って、左岸（南岸）を折立から猿飼まで歩き、吊橋を越えて右岸平谷（十津川温泉）に至るコース。ほとんどスキヤヒノの樹林におおわれた林道を通る。途中、奥山手谷・山手谷・上猿飼・下猿飼の各集落を通過し、一部に加地が点在している。十津川温泉は、国道168号線が通り、旅館・民宿・商店等が集まっていて、十津川村内でも最も賑わっているところである。

十津川郷土と温泉の里をめぐるみち

沿線風景

奈良コースの所要時間
約3時間30分

起点までの最寄駅と所要時間
奈良交通バス JR和歌山線「五条」駅から「折立」まで 2時間 59分

奈良コースの距離
7km

終点
奈良交通バス「平谷口」バス停から JR和歌山線「五条」駅まで 3時間 15分

泉の郷
温泉、宿、サウナや温泉ツアーなどが揃って、温泉保養施設です。

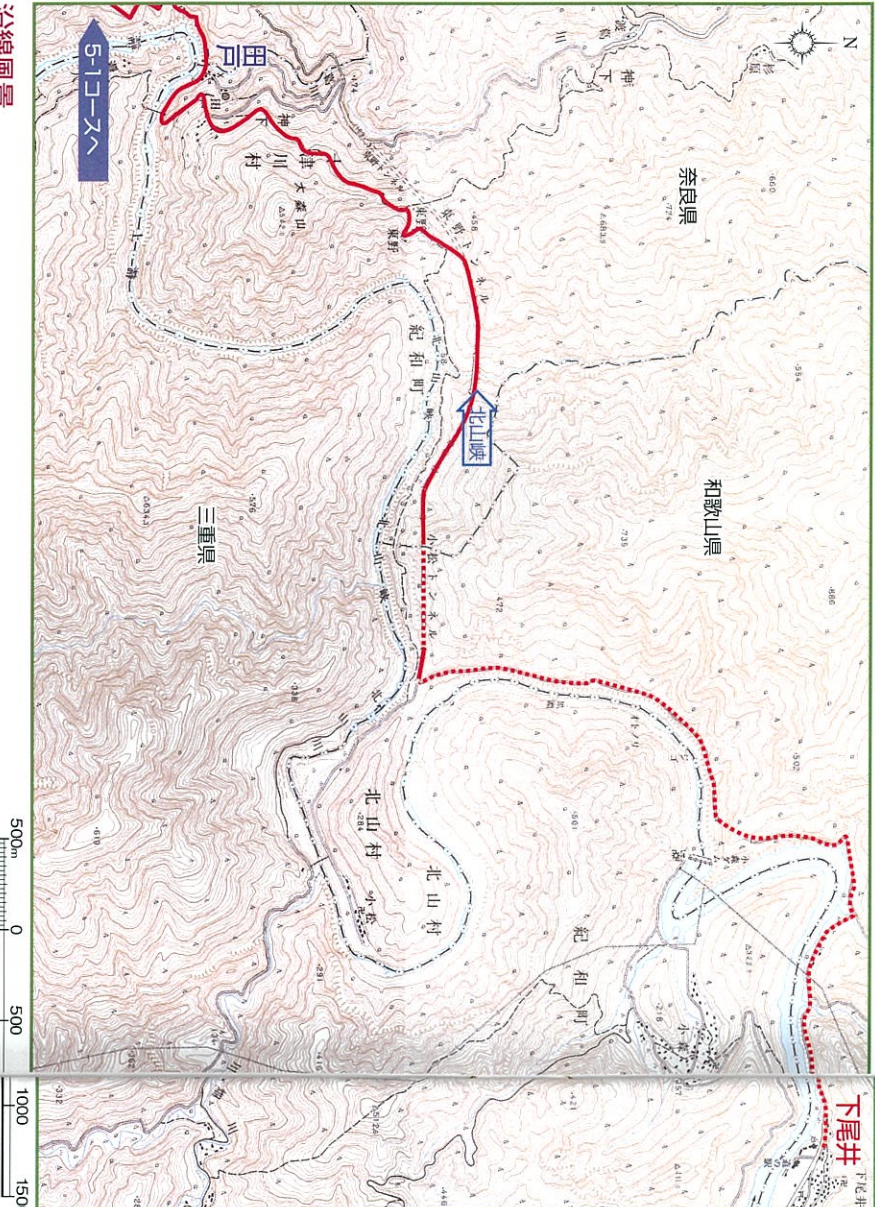


コースガイド

十津川温泉は、十津川支流の上湯川に出る下湯を源泉とし、二津野ダム湖畔の平谷と城尾に旅館・民宿・公衆浴場が集まっている。下湯の源泉は、元湯の頃（1700年前後）に武城きん太夫が発見したものと伝えられている。

二津野ダムは、和歌山県境に近い二津野で十津川を堰き上げて築造された、奈良県下最初のゲート式ダム。昭和36年（1961年）の完成。水は、下流の十津川第2発電所（和歌山県熊野川町橋呂）に導かれ、発電に利用されている。





沿線風景



観光筏下り(北山峡)
約600年前にも前に木材を運び手袋として活躍した筏流しを観光用に再現。

奈良県コースの所要時間	約2時間10分
起点までの最寄駅と所	十津川村営バス「十津川温泉」 「新八丁」バス停まで1時間21分
所要時間	バス停から 1日3~4便 バス停から 駅まで65分
奈良県コースの距離	4.4km
終点	県境から徒歩3時間 バス停「北山村下尾井」 JR紀勢本線「熊野市」

コースガイド

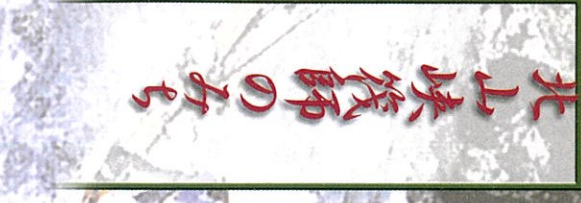
北山峡は静峡の上流にあり、北山川ははげしい蛇行をくわえしている部分である。兩岸は断崖絶壁となり、岩壁の上には野生のサツキが生え、初夏には鮮やかな赤い花を開く。小森ダムの上流から、北山村の小森までは千加川村の田戸まで、冬を除いて筏下りがあり、サインミツの筏流下りが楽しめる。

小森ダムの東側にある小森の集落(三重県紀和町)は、曲がり過ぎてくびれ部をショートカットしてしまひ、残りの旧河川敷上に発達したものだ。紀伊半島にはこのように、しかもそれぞれの大部分に「小森」という地名が興味深い現象である。

北山川の蛇行が、北山川の下流にあり、断崖絶壁となり、岩壁の上には野生のサツキが生え、初夏には鮮やかな赤い花を開く。小森ダムの上流から、北山村の小森までは千加川村の田戸まで、冬を除いて筏下りがあり、サインミツの筏流下りが楽しめる。

静峡の田戸から、北山峡沿いに右岸をさかのぼり、和歌山県飛地の北山村の下尾井に至るコース。田戸から大森山の北西斜面を横切り、東野の集落を経て北山川右岸に下る。このあたりにはほとんどスギ・ヒノキの植林地であり、北山峡の兩岸は断崖絶壁となっている。初夏には、岩壁上に野生のサツキが鮮やかな赤い花を開き、新緑に映えて美しい。和歌山県側に入ると照葉樹林の割合が多くなり、小森ダム、同ダム湖を経て下尾井に至る。

沿線風景



北山峡筏師のみち

